

## 件 名

---

魅力ある県立高校づくり第2期実施方策（案）について

## 提案理由

---

魅力ある県立高校づくり第2期実施方策（案）について、別紙のとおりとしたので、協議願います。

## 概 要

---

- 1 魅力ある県立高校づくり第2期実施方策（案）
- 2 県民コメント実施状況

（魅力ある高校づくり課）

魅力ある県立高校づくり  
第2期実施方策  
(案)

令和4年●月  
埼玉県教育委員会

# 目 次

	ページ
1 国際感覚を身に付けたグローバル人材を育成する高校の設置 . . . . .	1 - 2
2 アニメーション・美術分野で活躍できる人材を育成する高校の設置 .	2
3 ビジネス分野で活躍できる人材を育成する高校の設置 . . . . .	3
4 先端産業分野で活躍できる人材を育成する高校の設置 . . . . .	3

## (参考資料)

- 魅力ある県立高校づくり実施方策策定に向けて(再編整備の進め方) . 5
- 用語の解説 . . . . . 9

文中に※を付した語句については、9ページに「用語の解説」がありますので御参照ください。

# 1 国際感覚を身に付けたグローバル人材を育成する高校の設置

## 和光国際高校と和光高校の統合

### 【新校の概要】

国際に関する学科及び普通科の併置校として、和光国際高校と和光高校を統合し、現在の和光国際高校の場所に新校を設置します。

### 新校の基本方針

- ◇ 国際感覚や語学力を身に付け、国内外で活躍できるグローバル人材の育成を目指します。
- ◇ 自国の伝統や文化を理解し、異なる文化や価値観を尊重する態度を育成するとともに、SDGs※などの地球規模の課題の探究活動に取り組みます。
- ◇ 国際に関する学科の中心的役割を担う高校を目指します。

### 【設置時期】

- 新校は、令和8年度に開校します。

#### －生徒募集について－

- 新校は、令和8年度入学者選抜から生徒募集を行います。
- 和光国際高校は、令和7年度入学者選抜まで生徒募集を行います。
- 和光高校は、令和5年度入学者選抜まで生徒募集を行います。

	令和5年度 入学者選抜	令和6年度 入学者選抜	令和7年度 入学者選抜	令和8年度 入学者選抜
新校				○
和光国際高校	○	○	○	
和光高校	○			

## 岩槻高校と岩槻北陵高校の統合

### 【新校の概要】

国際に関する学科及び普通科の併置校として、岩槻高校と岩槻北陵高校を統合し、現在の岩槻高校の場所に新校を設置します。

### 新校の基本方針

- ◇ 国際感覚や語学力を身に付け、国内外で活躍できるグローバル人材の育成を目指します。
- ◇ 自国の伝統や文化を理解し、異なる文化や価値観を尊重する態度を育成するとともに、SDGs※などの地球規模の課題の探究活動に取り組みます。
- ◇ 地域の伝統産業を海外に発信することで、地域社会に貢献しつつ、豊かな表現力を身に付けることを目指した教育を行います。

### 【設置時期】

- 新校は、令和8年度に開校します。

#### －生徒募集について－

- 新校は、令和8年度入学者選抜から生徒募集を行います。
- 岩槻高校は、令和7年度入学者選抜まで生徒募集を行います。
- 岩槻北陵高校は、令和5年度入学者選抜まで生徒募集を行います。

	令和5年度 入学者選抜	令和6年度 入学者選抜	令和7年度 入学者選抜	令和8年度 入学者選抜
新校				○
岩槻高校	○	○	○	
岩槻北陵高校	○			

## 秩父高校と皆野高校の統合

### 【新校の概要】

国際に関する学科及び普通科の併置校として、秩父高校と皆野高校を統合し、現在の秩父高校の場所に新校を設置します。

### 新校の基本方針

- ◇ 国際感覚や語学力を身に付け、国内外で活躍できるグローバル人材の育成を目指します。
- ◇ 自国の伝統や文化を理解し、異なる文化や価値観を尊重する態度を育成するとともに、SDGs※などの地球規模の課題の探究活動に取り組みます。
- ◇ 地域の観光資源を海外に発信することで、地域社会に貢献しつつ、豊かな表現力を身に付けることを目指した教育を行います。

### 【設置時期】

- 新校は、令和8年度に開校します。

#### －生徒募集について－

- 新校は、令和8年度入学者選抜から生徒募集を行います。
- 秩父高校は、令和7年度入学者選抜まで生徒募集を行います。
- 皆野高校は、令和5年度入学者選抜まで生徒募集を行います。

	令和5年度 入学者選抜	令和6年度 入学者選抜	令和7年度 入学者選抜	令和8年度 入学者選抜
新校				○
秩父高校	○	○	○	
皆野高校	○			

## 2 アニメーション・美術分野で活躍できる人材を育成する高校の設置

## 越生高校と鳩山高校の統合

### 【新校の概要】

アニメーション・美術に関する学科及び普通科の併置校として、越生高校と鳩山高校を統合し、現在の越生高校の場所に新校を設置します。

### 新校の基本方針

- ◇ クリエイティブな分野で活躍できる人材の育成を目指します。
- ◇ 美術に関する専門科目に加え「アニメーション」に関する科目などを設け、専門的な知識や技術の習得を目指します。
- ◇ 県内にあるアニメーションスタジオなどの外部機関との連携を通して、より実践的・体験的な学習活動を行います。

### 【設置時期】

- 新校は、令和8年度に開校します。

#### －生徒募集について－

- 新校は、令和8年度入学者選抜から生徒募集を行います。
- 越生高校は、令和7年度入学者選抜まで生徒募集を行います。
- 鳩山高校は、令和5年度入学者選抜まで生徒募集を行います。

	令和5年度 入学者選抜	令和6年度 入学者選抜	令和7年度 入学者選抜	令和8年度 入学者選抜
新校				○
越生高校	○	○	○	
鳩山高校	○			

### 3 ビジネス分野で活躍できる人材を育成する高校の設置

#### 八潮南高校と八潮高校の統合

##### 【新校の概要】

ビジネスに関する学科及び普通科の併置校として、八潮南高校と八潮高校を統合し、現在の八潮南高校の場所に新校を設置します。

##### 新校の基本方針

- ◇ ビジネス分野で活躍できる人材の育成を目指します。
- ◇ 科学的根拠に基づいたデータ分析や課題研究※などを通して、創造的に解決する力や社会人基礎力※を養います。
- ◇ 株式会社の設立・マネジメントなど実践型のビジネス教育に取り組むパイロット校を目指します。

##### 【設置時期】

- 新校は、令和8年度に開校します。

##### －生徒募集について－

- 新校は、令和8年度入学者選抜から生徒募集を行います。
- 八潮南高校は、令和7年度入学者選抜まで生徒募集を行います。
- 八潮高校は、令和5年度入学者選抜まで生徒募集を行います。

	令和5年度 入学者選抜	令和6年度 入学者選抜	令和7年度 入学者選抜	令和8年度 入学者選抜
新校				○
八潮南高校	○	○	○	
八潮高校	○			

### 4 先端産業分野で活躍できる人材を育成する高校の設置

#### 大宮工業高校と浦和工業高校の統合

##### 【新校の概要】

県内初の工業に関する学科及び情報に関する学科の併置校として、大宮工業高校と浦和工業高校を統合し、現在の大宮工業高校の場所に新校を設置します。

##### 新校の基本方針

- ◇ 機械、電気、建築、ロボット技術及び専門情報に関する学科を置き、先端産業分野で活躍できる人材の育成を目指します。
- ◇ 学科横断型の課題研究※などを通して専門知識の統合を図り、新たな価値の創造に結び付けていく資質・能力を育成します。
- ◇ 県内の工業・情報教育の拠点となる高校を目指します。

##### 【設置時期】


- 新校は、令和8年度に開校します。

##### －生徒募集について－

- 新校は、令和8年度入学者選抜から生徒募集を行います。
- 大宮工業高校は、令和7年度入学者選抜まで生徒募集を行います。
- 浦和工業高校は、令和5年度入学者選抜まで生徒募集を行います。

	令和5年度 入学者選抜	令和6年度 入学者選抜	令和7年度 入学者選抜	令和8年度 入学者選抜
新校				○
大宮工業高校	○	○	○	
浦和工業高校	○			

## <参考資料>



- 魅力ある県立高校づくり実施方策策定に向けて（再編整備の進め方）
- 用語の解説

# 魅力ある県立高校づくり実施方策策定に向けて（再編整備の進め方）

埼玉県教育委員会  
平成30年4月

## 1 はじめに

埼玉県教育委員会は、中学校卒業生数が減少する中、多様化する教育ニーズや高校中途退学などの課題に対応し、県立高校の活性化・特色化を図るため、「21世紀いきいきハイスクール構想（平成11年度～平成25年度）」に基づき、5年ごとに前期、中期、後期の「推進計画」を定め、総合学科高校や多部制定時制高校など様々なタイプの特色ある県立高校を設置してきました。

構想終了後は、生徒数の変動が限定的であることから、教育の質を向上させるとともに、学科の再編や教育課程の改編に取り組んできました。

しかしながら、再び中学校卒業生数の減少や社会状況の変化、生徒・保護者のニーズの多様化などが見込まれたため、特別支援学校も含めた県立学校のより一層の活性化・特色化を図ることを目的に、平成28年3月に「魅力ある県立学校づくりの方針」を策定しました。

同方針に基づき、平成28年度、魅力ある県立学校づくりに向け、全ての県立学校では、学校の特色の一層の可視化を図るため「学校の活性化・特色化方針」を策定、公表しました。

併せて、県教育委員会では、社会のニーズに対応した特色ある高校の設置や、教育環境の整備のための県立高校の再編整備などについて検討を進めています。今後人口の減少が進み、これまで以上に地域と学校の連携が求められる中で、実態を把握するため、学校や市町村を訪問し意見交換を進めてきました。こうしたことにより「学校や地域の現状を踏まえ計画を進めていくこと」の重要性を改めて確認したところです。

そこで、県立高校の再編整備を進めていくに当たり、「魅力ある県立高校づくり実施方策策定に向けて（再編整備の進め方）」を定めました。



### 2 県立高校をめぐる現状と課題

今後、産業・就業構造の変化やグローバル化の進展に加え、超スマート社会(Society 5.0)の鍵を握るIoTやAIの社会への普及拡大が見込まれるなど、将来の予測が困難な時代を迎えています。

また、少子高齢化の急速な進行や生産年齢人口の大幅な減少による経済規模の縮小、社会保障費の増大などが懸念されています。

このような変化の激しい社会をたくましく生きる生徒の育成には、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた「生きる力」を育むことが大切です。加えて、夢と自信を持ち、可能性に挑戦するための思考力や判断力、表現力、学びに向かう力などを確実に身に付けさせることも必要です。

さらに、地域活性化の観点から、地域における学校の役割が大きくなってきています。そのため、学校には、地域と連携して地域とともに活性化を図る取組がますます求められます。

### 3 魅力ある県立高校づくり

#### (1) 県立高校の特色化

これからの県立高校においては、時代の要請に応えられる創造性豊かな人材を育成するため、一層の活性化・特色化を図り、それぞれの学校のブランド力を高める必要があります。

そこで、今後、学校の現状、地域の状況などを見据えながら、県民や生徒、保護者のニーズに応える特色ある県立高校の設置に向けて、学校規模に関わらず学科再編や統合などを検討します。

#### (2) 県立高校の活性化

今後の公立中学校卒業生数を予測すると、平成29年3月から平成41年3月までの12年間で、約62,000人から約56,000人へ約6,000人減少することが見込まれています。

そのため、県立高校の教育の活性化の観点から、適正な学校規模<sup>※1</sup>を下回る学校については、生徒募集の状況や地域の生徒減少率とともに、学校・地域の状況や取組なども考慮しながら近隣の学校との統合などを検討します。

※1 適正な学校規模（「魅力ある県立学校づくりの方針」から）

全日制の課程における適正な学校規模については、平成20年度に策定された「21世紀いきいきハイスクール推進計画（後期）」や平成24年度の「魅力ある県立高校づくり懇話会報告書」を踏まえ、1学年当たり8～6学級を標準とします。

ただし、中学校卒業生数の減少が著しく、適正規模を確保することが困難な地域においては、地域の教育力の維持・向上の観点から、例外的に4学級程度までの規模とする場合があります。

## 4 再編整備の進め方

魅力ある県立高校づくりの観点から、県立高校の全日制課程の学校数を今後3期程度に分けて、平成41年4月を目途に現在の134校を121～124校程度とすることが必要と考えています。

そのため、高校の現状や地域バランスを考慮し、南部、さいたま及び県央地域<sup>※2</sup>からは2～4校、南西部、川越比企及び西部地域からは2～4校、東部及び利根地域からは2～4校、北部及び秩父地域からは2～3校の再編整備を行うことを検討していきます。(p.8「県立高校の配置と地域区分等」参照)

なお、再編整備の実施に当たっては、以下の観点に基づき、検討します。

### 再編整備を検討する観点

- ① 生徒募集が困難な状況にあり、かつ、将来もその傾向が続くと見込まれることから、教育の活性化のため、適正な学校規模を維持する必要がある。  
(進路希望状況調査や入学志願倍率、地域の生徒減少率、募集学級数等を参考にする。)
- ② 地域・県民の期待や社会のニーズに対応した特色ある学校を設置する必要がある。
- ③ 近隣に同様の教育内容を持つ学校・学科が存在するため、活性化・特色化を図る必要がある。

※2 地域については、埼玉県5か年計画「希望・活躍・うろおいの埼玉」（平成29年度～平成33年度）における地域区分を参考にし、以下のとおりとする。

	地域区分	構成市町村
①	南部	川口市 蕨市 戸田市
	さいたま	さいたま市
	県央	鴻巣市 上尾市 桶川市 北本市 伊奈町
②	南西部	朝霞市 志木市 和光市 新座市 富士見市 ふじみ野市 三芳町
	川越比企	川越市 東松山市 坂戸市 鶴ヶ島市 毛呂山町 越生町 滑川町 嵐山町 小川町 川島町 吉見町 鳩山町 ときがわ町 東秩父村
	西部	所沢市 飯能市 狭山市 入間市 日高市
③	東部	春日部市 草加市 越谷市 八潮市 三郷市 吉川市 松伏町
	利根	行田市 加須市 羽生市 久喜市 蓮田市 幸手市 白岡市 宮代町 杉戸町
④	北部	熊谷市 本庄市 深谷市 美里町 神川町 上里町 寄居町
	秩父	秩父市 横瀬町 皆野町 長瀨町 小鹿野町



用語の解説

本編中、※で記した用語の解説をしています。

行	用語	解説	頁
あ	SDGs	<p>「Sustainable Development Goals」(持続可能な開発目標)の略称。</p> <p>2015年9月の国連サミットで193の全加盟国が全会一致で採択した「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性<sup>ほうせつ</sup>のある社会の実現のために定めた目標。</p>	1 1 2
か	課題研究	<p>農業、工業、商業、家庭、情報などに設置されている科目。</p> <p>各教科の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力の育成を目指すもの。</p> <p>具体的には、調査、研究、作品製(制)作、実習などを行う。</p>	3
さ	社会人基礎力	<p>「前に踏み出す力」(主体性、実行力など)、「考え抜く力」(課題発見力、計画力、想像力など)、「チームで働く力」(発信力、柔軟性など)の3つの能力から構成されており、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、経済産業省が提唱。</p>	3



埼玉県マスコット  
「コバトン」「さいたまっち」

魅力ある県立高校づくり  
第2期実施方策（案）

---

埼玉県教育局県立学校部魅力ある高校づくり課  
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1  
TEL 048-830-6902 FAX 048-830-4951  
E-mail a6780@pref.saitama.lg.jp

---

## 第 2 期実施方策（案）比較表

修正後	修正前
<p>1 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 (略)</p> <p>4 先端産業分野で活躍できる人材を育成する高校の設置 大宮工業高校と浦和工業高校の統合</p> <p>【新校の概要】 (略)</p> <p>新校の基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ (略)</li> <li>◇ 学科横断型の課題研究※などを通して専門知識の統合を図り、新たな価値の創造に結び付けていく資質・能力を育成します。</li> <li>◇ (略)</li> </ul> <p>【設置時期】 (略)</p> <p>－ 生徒募集について － (略)</p> <p>&lt;参考資料&gt; (略)</p>	<p>1 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>3 (略)</p> <p>4 先端産業分野で活躍できる人材を育成する高校の設置 大宮工業高校と浦和工業高校の統合</p> <p>【新校の概要】 (略)</p> <p>新校の基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ (略)</li> <li>◇ 学科横断型の課題研究※を通して専門知識の統合を図り、新たな価値の創造に結び付けていく資質・能力を育成します。</li> <li>◇ (略)</li> </ul> <p>【設置時期】 (略)</p> <p>－ 生徒募集について － (略)</p> <p>&lt;参考資料&gt; (略)</p>

## 魅力ある県立高校づくり第2期実施方策（案）に係る県民コメントの実施状況について

## 1 実施期間

令和4年7月19日（火）～8月18日（木）

## 2 提出意見等の状況

提出方法	個人の数 (意見件数)	団体の数 (意見件数)	提出者数の合計 (意見件数の合計)
郵送	5(12)	0(0)	5(12)
FAX	19(30)	1(3)	20(33)
電子メール	69(152)	6(14)	75(166)
計	93(194)	7(17)	100(211)

## 3 意見提出要件を満たさず、上記2に含めなかったもの

理由	個人の数	団体の数
住所もしくは氏名に不備	14	2
実施期間外	2	2

## 4 意見の内訳

意見内容	意見件数
第2期実施方策（案）全般について	101
和光国際高校と和光高校の統合について	32
岩槻高校と岩槻北陵高校の統合について	1
秩父高校と皆野高校の統合について	52
越生高校と鳩山高校の統合について	5
八潮南高校と八潮高校の統合について	6
大宮工業高校と浦和工業高校の統合について	12
その他（実施方策案と直接関係のない意見）	2
計	211

## 魅力ある県立高校づくり第2期実施方策（案）に対する県民コメント御意見一覧

※ 御意見の趣旨を極力損なわないように要約し、趣旨が類似している御意見については、まとめております。

意見内容		意見件数 類似意見 を含む
<b>1 第2期実施方策（案）全般（101件）</b>		
1	校地、校名の決定に当たっては、公明正大な審議、決定を下して欲しい。	1
2	生徒数が減っている今こそ、少人数学級の実現を求める。	17
3	公立高校だけで卒業者の減少を受け止めるのは不自然極まりない。私学へ定員縮小の協力を強く依頼すべきである。	1
4	授業料無償化により私立進学が増え、公立高への進学が減少したが、それは子供や親の選択の結果なのだから、もっと校数を減らしても良いのではと思う。	1
5	再編整備という実態とかけ離れた表現を使うべきではない。実態は廃校である。	4
6	新校における十分な予算立てによる施設設備の充実を図ること、そして閉じる学校でも生徒たちの最後まで学習権保障を行うべき責務が県教育委員会にあることは当然のこと。	1
7	どの学校も、特色ある学校を作ろうという意志は感じられる。そのためのリソースや方策が分からないことが心配である。方針だけでなく、それを実現するための人的・物的資源の確保をしっかりとほしい。	1
8	生徒数減の中で県財政の面から考えれば、学校の統廃合自体は納得できる。「予算削減のための県立学校統廃合」と言った方がよいのではないか。	1
9	単なる高校に関わる経費の試算だけではなく、県全体の経済、環境、治安、公共の観点でもっと総合的に多角的に専門家を交えて、教育予算のかけ方を検討すべき。児童、生徒1人当たりには掛ける教育予算額はとても少ない。もっと子供たちの教育へ予算を取るべき。	1
10	廃校となる学校の多くは、家庭的・学力的に困難を抱える生徒が多く通う学校である。そのような生徒は行き場を失うことになる。	4
11	地理的な学習権保障について。県の西部と北部は特に学校数が多くない。統廃合によって通学時間が大幅に増える。また、交通費も家計に大きな負担となる。	2



	意見内容	意見件数 類似意見 を含む
12	「魅力」を掲げて「統合」と言いながら、生徒募集が困難で偏差値が低い学校を体よく切り捨てているようにしか見えない。これでは成績の低い子は行く所が無くなってしまう。	1
13	全ての新校は、どの程度の偏差値レベルの高校設置を想定しているのか。	1
14	実施方策案の情報量が、パブリックコメントを考える上で少ない。新校では1学年何人募集にする予定なのか。新校が募集生徒数を増やすつもりならば、そのための施設・設備や教職員等の条件整備をどうするつもりなのか。	1
15	第1期において新校の準備のために現場の教職員が多忙化せずに済んだのかどうか、データを公開してほしい。また、その反省が第2期に生かされているのかどうか説明してほしい。	1
16	「県民コメント」の結果や新校準備委員会等の進捗については、ホームページ等で細かく丁寧に県民に開示・提供してほしい。	1
17	疑問に思った点として、和光国際高校と和光高校、岩槻高校と岩槻北陵高校では、学力の差が非常に大きく開いている点が挙げられる。	1
18	自分で考えるとか物事の本質を見抜くような人を育ててほしい。カリキュラムもただこなすとか記憶するだけのことではなく創造する力を高める内容であってほしい。学びたいことを生徒が選択できるものであってほしい。校則も意味のないものはやめて生徒と話し合いの上で決めてほしい。	1
19	新たな高校でタブレット等を導入することがあれば金額等をあらかじめ提示するよう求める。	1
20	高校の見直しをするなら、ロッカー等を広く取ってほしい。	1
21	クリエイティブな美術専門科目、ビジネス分野、専門技術分野は新入生にとって魅力があるので、国際感覚を身に付けたグローバル人材を育成する三つの高校にも上記の分野の科目を入れて、新入生が選択しやすい新校にして、さらに魅力ある新校にしていきたい。	1
22	SDGs 誰一人取り残さない、社会づくりのため、これからの高齢化社会と福祉国家を目指す為の人材育成のため、この分野を拡充する必要がある。そのために福祉分野で活躍できる人を育成する分野が必要ではないか。その福祉分野も基本方針に入れて頂きたい。	1
23	「部活動」に「合気道」を加えることを提案する。	1
24	「男女別学校の共学化」には断固反対する。	1

意見内容		意見件数 類似意見 を含む
25	男女別学の高校の共学化が全く進んでいないことに大いに疑問を感じる。	3
26	市町村ごとの人口だけではなく、圏域に何校という考えで、今後の第3期以降の再編を考えていただければと考えている。	1
27	高校が地域から姿を消すと、人口が流出する。学校統廃合は、マイナスしかなく地域は疲弊するため反対。	5
28	計画に賛成するが、公教育ゆえに遅すぎると感じた。本計画は教育改革の一つとして必要である。	1
29	時代のニーズに合わせてエッジの効いた若者を育成するために、単校であってもリニューアルする計画がほしい。	1
30	「成績の良い生徒」「将来の目的をはっきりと持っている生徒」の学びのことだけが考えられており、様々な困難を抱えた子供たちや将来の進路を悩んでいる子供たちのことが考慮されていない。各校の特色を設けることが必要ならば、統廃合抜きで行うべき。	1
31	新校ではそれぞれ特色を示しているが、特色のない普通の学校に行きたい生徒が進学すべき学校も提示してほしい。	2
32	もっと生徒自身の主体性、自発性に基づいた教育が実現できる教育課程を持った学校を志向すべき。	1
33	教育に財政を使わない統廃合に反対。また「特色ある」という名目で、企業が行うべき人材育成を学校教育に持ち込まないでほしい。	1
34	情報通信(IT)系に強い学校が無い。ITの専門校化ではなくとも、IT教育の必須化の追加を望みたい。	1
35	倍率が低いという理由で工業、農業、商業高校を縮小することは、こうした学校が果たしてきた人材の裾野を拡げるといふ役目を軽視してはいまいか。今後、社会が必要とする人材が圧倒的に足りなくなることが起こると懸念する。	1
36	もはや公立校は地域や受益者が負担して維持できるわけではないという現実に向き合うべきであり、公益優先の合理的思考で自信を持って進めて欲しい。	1
37	偏差値に依存せずに『自己肯定感』を上げる学校作りとなることを祈る。	1
38	「魅力ある県立高校づくり」が、子供や地域のための政策であることを見失わずに、政策形成にあっては特段の配慮を願う。	1

意見内容		意見件数 類似意見 を含む
39	大人の都合でなくあくまでも子供たちの立場にたって考えて欲しい。子供たちにとっては、たった一度きりの高校生活。	1
40	2校を統合するために、とってつけたような学科再編や特色化になっていて、本当にそれで学校が活性化されるのか、疑問である。始めから統廃合数（12校→6校）ありきであり、認めるわけにはいかない。	1
41	憲法・教育基本法に規定された子供たちの学習権保障と教育の機会均等の原則に反する高校統廃合に強く反対する。	4
42	教員不足問題が深刻。改善するには、教職員の負担軽減が緊急の課題。	4
43	対象校の教員にとって、現生徒を見ながら新校の準備をするのは大きな負担になると思う。負担軽減策を考えてあげた方がよいのではないか。	1
44	以下の理由から第2期実施方策（案）に反対する。様々な発達上の困難、特別なニーズがある生徒等へのきめ細かい学習指導と生活指導を進めていく上で小規模な学校の果たすべき役割は極めて重要である。これまで統廃合が行われるたびに、一定数の特別なニーズがある生徒が「行き場」を失い、特別支援学校に入学し、結果として特別支援学校の過密化を押し進めた。	8
45	特別支援学級の増設も考えるべき。	1
46	統廃合による学校減が、教職員の採用減になることを心配している。教職員の採用は計画的に行なってほしい。	1
47	グローバル人材の育成は大いに理解できるが、生徒は将来世界に飛び出していくので、おそらく埼玉県に住まない。県の少子化はますます進むのではないか。	1
48	定員割れの高校は廃校にして、近くの高校の定員を増やす事を提案する。	2
49	どれだけ地元との話し合いがなされたのか。統廃合される高校の教職員や生徒との話し合いはどう持ったのか。十分な話し合いの時間を取ることを求める。	2
50	第2期実施方策（案）に反対。統合に当たって両校の意志意向の確認が必要ではないか。	2
51	「収入の格差」「学力の格差」を包み込むことができるのが県立高校と言える。学校統廃合は、経営感覚に大きく依存する形で判断すべきではない。	1

意見内容		意見件数 類似意見 を含む
52	統廃合は知事が理念とする「県民の誰一人取り残さない」に反する。教育委員会は、存続を前提として魅力ある高校づくりを進めるべき。	1
53	再編整備の進め方に示された校数ありきではなく、さらに踏み込んだ統廃合の推進、校数の削減を早急に行う必要がある。一方で、県立校の統廃合が進んでも、地域や所得にかかわらず、誰もが希望する教育を受けられる機会を作ることも、本件と切り離せない重要な柱だと考える。私立進学者への県としての更なる支援の強化、教育人材確保の強化等、ソフト・ハードの両面からの施策を展開することが必要と考える。	1
54	事情により大規模校より小規模校で学びたいという希望があるならば、その希望（個性）も居場所、活躍の場として認められてしかるべき。大規模な学校で多くの生徒の中で競争させるより、少人数で手厚い指導体制の中で、地域との関わりを持ってゆっくり学んでいくことの方が意義がある場合もある。	1
55	低学力や知的障害のある生徒を受けれてきた定員割れの高校の存続に努めるべき。県内のどの子も高校で受けとめて育てていく視点で、学校数や方針を検討し直してほしい。	1
<b>2 和光国際高校と和光高校の統合について（32件）</b>		
1	なぜ「統合」と表記しているのか。事実上の和光高校の廃校ではないのか。	5
2	地元住民に愛されてきた和光高校の特色を奪いかねない。和光高校で看護教育などの専門的な教育が行えるように改革を行うことが必要なのではないかと考える。統合を再考していただきたい。	1
3	今後和光高校へ通うことになるかもしれない子供たちの選択肢が一つなくなってしまう。子供の選択肢・学びの場・希望を奪うような統廃合に反対する。	3
4	和光国際高校の文化祭文化を、新校にどのように引き継ぐつもりか。	1
5	和光国際高校と和光高校の統合に反対である。両校は偏差値、校風共に大きな差がある。	6
6	和光国際高校の学級規模は適切であり、再編整備を検討する三つの観点に当てはまらない。また、和光国際高校は十分に特色ある教育が行われている。	2
7	和光国際高校は、元々国際的な感覚や語学が身に付く高校であり、なおかつ国際に関する学科の中心的役割を既に担っており、統合する理由が分からない。	6
8	新校の基本方針に「(LGBTQ等)人の多様性を理解・尊重する態度の育成」を取り入れていただきたい。	1
9	公文書等への表記順序を順守して頂きたい。	1

意見内容		意見件数 類似意見 を含む
10	和光高校を必要とする生徒のため、閉校する日まで県が責任を持って学校経営を行うので安心して学ぶことができる旨の明記を願う。	1
11	P T A ・後援会で導入した普通教室等のエアコン運営について、令和7年度まで運営できるよう配慮してほしい。	1
12	令和6年度以降も引き続きP T A ・後援会活動を継続できるよう配慮してほしい。	1
13	開校から半世紀（50有余年）の歴史と伝統を有し地域のニーズに柔軟に対応してきた和光高校に対する敬意と感謝の気持ちを明記してほしい。	1
14	校名は「和光国際高校」とし、校歌も和光国際高校の校歌が引き継がれるべきである。	1
15	和光高校の跡地利用については和光市民の声を必ず反映させてほしい。	1
<b>3 岩槻高校と岩槻北陵高校の統合について（1件）</b>		
1	今後の少子化に伴い、新校の特徴がグローバル人材の育成では入学希望者を一定数確保することは難しい。英語以外の語学も積極的に取り入れるなど進学に特化した教育を実施していくことで現役合格を目指すことができる学校として生まれ変わったほうが良いのではないか。	1
<b>4 秩父高校と皆野高校の統合について（52件）</b>		
1	皆野高校と小鹿野高校を統合するのはどうか。秩父高校は進学校としてよりレベルを上げて力を入れてやってくべきである。この統廃合に反対する。	1
2	志願者数等の観点から、小鹿野高校についても統合の検討が必要だと思う。	1
3	皆野高校の商業科を秩父農工科学高校に移管し、県内の個性ある高校生が集まる高校にリニューアルすべき。	1
4	秩父高校と皆野高校の統合に反対。皆野高校は、卒業生が秩父の産業や商業の発展のために、秩父に残って定着して、秩父のために尽力している。秩父地域の今後の未来のためにも皆野高校は重要な役割を果たしている。	4
5	案の発表前に、学校関係者、地域住民への情報公開や話し合いの場などは持たれていたのか。学校の統合に際しては、丁寧な説明と慎重な対応が必要かと感じている。	4
6	秩父地域に唯一ある進学校が秩父高校。秩父高校は、進学校として残すべき。	4

	意見内容	意見件数 類似意見 を含む
7	「新校の基本計画」に皆野高校の要素がほぼない。皆野高校は廃止し、秩父高校単独でアップデートすれば良いのではないかと懸念している。	1
8	皆野高校の跡地利用について、積極的に考えて欲しい。	2
9	現在、皆野高校へ通学されている生徒に対して十分な配慮をしていただきたい。	1
10	県立高校の活性化について、近隣学校との統合などの記述があるが、近隣学校の定義はどのように考えているのか。	1
11	卒業証明書等の発行について、卒業生への周知はどのようにするか。	1
12	皆野高校の組織(PTA後援会運営等)はどうなるのか。	1
13	入学者選抜については、どちらの高校の条件を採用するのか、もしくは新しい条件で生徒を募集するのか。	1
14	少人数クラスの存在も必要だと思う。皆野高校は少数学校として存続していくのが望ましいと思う。	2
15	これまで取り組んできた商業科の授業についてはどのようになるのか。	3
16	秩父地域の今の四つの高校があることが重要。将来の秩父地域に関わる問題であり、単に高校だけの問題ではない。	3
17	秩父高校の制服を残してもらいたい。	2
18	校名を「ジオパーク秩父高校」とし、地域に開かれた高校として地域の人々との交流を考えてはどうか。また、この地域の多様な資源をコーディネートできる人材養成も重要な観点とするべき。	1
19	皆野高校が地道に取り組んできた地域貢献活動を考慮すれば、商業科の授業はなくさないでほしい。	2
20	校名は秩父高校を継承し、特色を持った学科を設けることを提案する。また、進学校として充実したカリキュラムで生徒の希望する将来へのステップがかなえられるよう学力を強化していくことも必須。	1
21	秩父地域の歴史、伝統文化、産業構造、経済活性化などについて、将来を担う若者の未来への考えや意見を積極的に発信する指導と機会を設けることを提案する。	1
22	様々な社会問題、家庭問題等に気付き、自らの事として考える力を育み、より良い社会を築いていく力が求められる。	1
23	実体験から学ぶ尊さとして、ボランティア活動をカリキュラムに含めることも提案する。	1

意見内容		意見件数 類似意見 を含む
24	制服や設備について「LGBTQIA+」の方々への対応はどうか。子供たち一人一人に寄り添い、より過ごしやすい学校にしていきたい。	1
25	秩父地域の地域性を生かした下記のようなクラブ活動等の採用で、地域外からの生徒の流入と地元生徒の地域外への流出歯止めを行うことが必要と考える。 ①長瀬射撃場を活用した「射撃部」の創設、②ゴルフ部の創設、③ドローン操縦資格・技術取得のカリキュラム創設	1
26	秩父地域の生徒が地域外の高校へ進学する要因の一つとして、私立高校と公立高校の入試日程の期日の乖離が大きく影響している。高校授業料無償化も大きな要因の一つ。調整が必要と考える。是非、検討していただきたい。	1
27	秩父地域で、進学を目指す普通科の秩父高校は必要、もっと元気になってほしい。また、実質は皆野高校の廃校だと言われないように新校づくりを検討してほしい。皆野高校の精神を受け継いだ学びを展開する特色ある学科、地域と一体となって取り組む学科を検討してほしい。	1
28	人口が少ない秩父地域で、新たな取組として国で実施している地域みらい留学を取り入れてはどうか。	1
29	統合ではなく、皆野高校については、学科や魅力あるカリキュラム、部活動、地域連携等で「全国募集」を行うことを提案する。県内初または県内でここだけという特色化や差別化を図っていくことが重要である。	2
30	秩父高校の場所は、住宅街の細い道の先に位置しており、大型バスなどは学校に入れない。なぜこのような場所に新校を設置するのか。	1
31	地理的条件から、通学時間や交通費の面から、秩父地域以外の学校に通うことが難しい生徒がいる。皆野高校が行っている通級がどうなるのかも含め、子供たちが安心して通える学校について考えていただきたい。	3
32	学力差が余りにも大きい秩父高校と皆野高校の統合は余りにも乱暴な話である。立地も考慮すべき。都市部とは別の考え方が必要である。	1
<b>5 越生高校と鳩山高校の統合について（5件）</b>		
1	「アニメーションに関する科目」は高等学校学習指導要領に定義がない。学校設定科目を想定していると思料するが、どのように教育の質を担保しようとしているか。	1

意見内容		意見件数 類似意見 を含む
2	越生と鳩山の統合は面白そうと思った。越生高校にはもともと美術科がある。アニメーション学科を作り将来的にそういう進路を選ぶ方が増えればよいと思っている。	1
3	アニメーションでの活躍とあるが、人気の割に低賃金労働との話を聞く。外部連携が低賃金労働者の供給源となるリスクはないか。	1
4	連携する外部機関は、県として企業の信頼性を担保するようにしてほしい。	1
5	アニメーションの分野は資格があるわけではなく、クリエイティブで専門性が極めて高く、個々の能力が大きく問われる。就職できる比率はそれほど高くなく、就職できても待遇が良いとは言えない。高校卒業後にどういったルートでアニメーションや美術関係の仕事に就くことを想定しているのか、ビジョンを明らかにしたほうが良い。	1
<b>6 八潮南高校と八潮高校の統合について（6件）</b>		
1	少子化で生徒募集が困難になってきている現実はあるが、今こそ、1クラスの人数を減らして、少人数学級にし、行き届いた教育を実現してほしい。	1
2	大学へ行くのが普通になりつつある今、進学に力を入れてもらえるよう希望する。学習塾に通ってないと進学できない状況を作らないでほしい。	1
3	越谷市、草加市、三郷市ではなく、2校しかない八潮市の高校を1校にしてしまうのが残念。	1
4	八潮市では現在、子供の人口が増加途上にある。一律に統廃合を進めるのではなく、それぞれの学校や地域の状況などをしっかり把握して検討してほしい。	3
<b>7 大宮工業高校と浦和工業高校の統合について（12件）</b>		
1	浦和工業高校は残すべき。定員割れは事実だが、教員と生徒の努力で改善できる。浦和工業高校の良いところの情報を発信し、人気上昇に努めてほしい。設備システム科は県内唯一の学科であり、魅力的である。	2
2	大宮工業高校と浦和工業高校の統合ではなく、他の工業高校の組合せを検討すべき。	3
3	大宮工業高校では建物の保守や維持管理に関する学科が無いので設備学科のある浦和工業高校と一緒にすることにより、設備系の学科が増える事を期待する。学科横断型の課題研究について、高校生で他学科・他業種との意見交換や調整を経験できるというのはとても大きな収穫になると思う。	1



意見内容		意見件数 類似意見 を含む
4	新校の基本方針に「学科横断型の課題研究を通して専門知識の統合を図り、新たな価値の創造に結び付けていく資質・能力を育成します。」とあるが、「学科横断型の課題研究」のみで専門知識の統合を図ることは難しいため、「学科横断型の課題研究」を「学科横断型の課題研究等」とすることを要望する。	1
5	新校の基本方針「機械、電気、建築、ロボット技術及び専門情報に関する学科を置き、先端産業分野で活躍できる人材の育成を目指します。」とあるが、学科再編も視野に入れて検討すべき。「機械、電気、建築等に関する学科を置き、社会の基盤を支える分野で活躍できる人材を育成するとともに、ロボット技術や専門情報に関する学科を置き、先端産業分野で活躍できる人材の育成を目指します。」とすることを希望する。	1
6	普通科同士、工業科同士の統合だけでなく、就職するものが多い普通科と工業高校を統合し、工業高校ではなく、工業の匂いがする程度の専門性の学びを通して、働くことの意義等をしっかり学ぶことができる高校を作ったほうが良いのではないか。	1
7	埼玉では建築系の学科が元々少ないので、浦和工業にある設備システムや大宮工業にある建築などの既存の学科を積極的にアピールされる方が良いのではないか。	1
8	現在の各科は、機械科は統合して機械システム科に、電気科も統合して電気システム科に、建築科と設備システムを統合して建築システムとして建築科の中に設備コースを設けると良い。情報技術と電子技術を統合して情報機械として各コースに分けたら良い。他に3D CAD科とか卒業後に専攻科を設けるのも新しい試みだと思う。また近隣の中央高等技術専門校との連携も一つの手法である。	1
9	校名は大宮総合技術高校、大宮工業技術高校、大宮先端技術工業高校のどれかが良い。伝統ある「大宮」の名前を残すべき。	1
<b>8 その他（実施方策案に直接関係ない意見）（2件）</b>		
1	マスクの強制はやめてほしい。	2

秩父地域の県立高校4校の存続を求め、皆野高校と秩父高校の統合計画に反対し、  
撤回を求める意見書

埼玉県教育委員会は、7月14日、県立高校12校を6校に統合する第2期実施方策案を発表しました。この計画の中に皆野高校と秩父高校の統合が含まれています。

県域の4分の1の面積を占める秩父地域にある県立高校4校は、それぞれの特色と魅力を備え地域住民にとってかけがえのない存在となっており、4校の存続を強く求めます。

今回の計画では、学科や生徒の進路が大きく異なる皆野高校と秩父高校の統合が企図され極めて不自然なものとなっています。秩父地域で唯一、商業を学べる学科がなくなることは中学生の進路選択を狭めることとなります。

さらに交通不便な秩父地域にあって遠距離通学が困難な生徒や少人数教育を希望する生徒の通える学校として皆野高校は、地域にとって重要な役割を果たしてきました。

今回の統合計画で皆野高校が無くなることは秩父地域の教育条件の低下につながり、希望しながらも高校教育を受けられない生徒が生まれる心配があります。このような計画は、断じて容認できません。

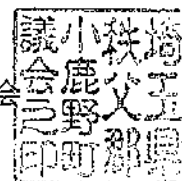
秩父地域の県立高校4校の存続を強く求め、皆野高校と秩父高校の統合計画に断固反対します。皆野高校と秩父高校の統合計画は撤回することを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和4年9月14日

埼玉県教育委員会教育長 高田 直芳 様

埼玉県秩父郡小鹿野町議会



## 埼玉県教育委員会による皆野高校と秩父高校の再編統合に反対する意見書

埼玉県教育局が7月14日、県立高校12校を6校に再編統合する「魅力ある県立高校づくり第2期実施方策（案）」を発表しました。

この実施方策（案）の中に皆野高校と秩父高校の再編統合が含まれています。

皆野高校は1966年（昭和41年）に開校され、商業高校として秩父地域はもとより、県内外の企業を支える多くの人材を輩出しています。秩父地域1市4町では「ちちぶ定住自立圏構想」の協定項目としても4校の存続に向けての取り組みを確認しており、その中で「皆野町と皆野高校との連携に関する協定書」が締結され、地域おこし協力隊による交流や小・中学校などとの連携が行われています。小規模でも特色ある高校としてこれからも地域とともに存続することが望まれます。

皆野高校が再編統合により無くなることは、広大な面積を持つ秩父地域の教育条件の低下、希望しながらも様々な理由により高校教育を受けられない生徒が生み出される心配があり、皆野高校の存続を強く求めます。

よって埼玉県教育委員会による皆野高校と秩父高校の再編統合に反対します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和4年 9月15日

埼玉県皆野町議会



埼玉教育委員会教育長

高田 直芳 殿